

○事務端末

台 数：98台（ノートパソコン型）

台 数：71台（一体型PC）

ディスプレイは23.8インチ以上のフルHDであること。

【端末基本構成】

OS：Windows11 Pro 64bit版

内蔵ストレージ：256GB SSD以上

メモリ：16GB以上

通信機能：有線LAN 1000 BASE-T に対応したイーサネットコネクタを有すること。

マウス：USB接続のホイール付光学式マウス（ガラスや透明シートの上でも動作可能）

その他：・省電力による稼働を考慮されていること。

・国内メーカ、または国内生産であること。

付属ソフト等：Microsoft365 Office（初期設定時はOneDriveを使えないようにすること）

付属品：工場出荷時の初期状態に復元可能な DVD 2式

その他の納入物品：事務端末の初期設定に復元可能なマスタイメージを格納した媒体2式(OS、OA ソフト、事務システムクライアントソフト等を含む、ただし、IP アドレス、端末名、プリンタドライバ等、個別に設定する必要がある情報は除く)

メーカ保守期間：5年間のオンサイトサポート

備考：以下の点に注意すること。

- ・アプリケーションソフトについては、ライセンス証書等を納品すること。
- ・アカデミックライセンスにて調達可能なものは当該ライセンスで調達するものとする。
- ・プロダクトキーの取得に関しては、本学担当者と相談し対応すること。
- ・端末のスペック/MACアドレス（有線/無線）を一覧化した資料を納品すること。
- ・パソコン等の設定や運用に関して、本学SEと連携し実施すること。

【ノートパソコン構成】

CPU：Inte Core Ultra 5 125Uもしくは同等品以上であること。

無線 LAN：IEEE802.11 ac/a/b/g/n/ax 準拠のモジュールを内蔵すること。

インターフェイス：TypeA×2、TypeC×2、HDMI×1 以上有すること。

外部ディスプレイを接続できる拡張性を有すること。

スピーカー：内蔵ステレオスピーカーを有すること。

キーボード：日本語JIS対応した、キーボードであること。

【一体型PC構成】

CPU：Inte Core i5-14500もしくは同等品以上であること。

無線 LAN：IEEE802.11 ac/a/b/g/n/ax 準拠のモジュールを内蔵すること。

インターフェイス：TypeA×5、TypeC×1、HDMI×1 以上有すること。

スピーカー：内蔵ステレオスピーカーを有すること。

キーボード：日本語JIS対応した、テンキー付きキーボードであること。

○マスタイメージPCの作成

- ・マスタイメージPCを2種（ノートPC、デスクトップPC）作成すること。
- ・環境複製用のマスタイメージは再作成・カスタマイズ可能であること。また、全台再展開（複数回）が可能のようにライセンス承認等を考慮したライセンス構成であること。
- ・作成したマスタイメージから各クライアント端末にイメージ展開し、利用できる状態にセットアップすること。また、本学担当者と相談し、必要なソフト（ZOOM、AdobeReader、Chromeブラウザなど）のインストール/設定を行う事。
- ・現在利用中のマスタイメージを確認し、必要な設定を行うこと。
- ・設定内容を記載した資料を納品すること。

○クライアント端末の設定

- ・校内ドメインへの参加、マスタイメージPCのプロファイル設定作業を行うこと。
- ・すぐに利用ができるよう、Officeのセットアップを行うこと。
- ・Microsoft365のアカウント情報の作成を行うこと。
- ・必要に応じて固定IPアドレスの設定を行うこと。
- ・大学担当者と相談の上、指定日時に下記作業を行うこと。
 - 新端末の設置（ノートPCの場合は、本学にあるディスプレイも一緒に設置すること。）
 - 現地プリンタとの通信設定
 - インターネット通信確認（有線/無線）
 - 旧端末の撤去（指定場所へ）
 - ホスト名の変更（納品資料の一覧に記載すること）
 - ラベル作成/貼り付け
- ・旧端末からのデータ移行に関する手順書を作成・納品すること。
 - 一般的なもの（お気にいりとかマイドキュメント）を作成
 - 大学の専用システムの内部データ移行については大学側で検証後、提案業者は手順書を作成すること。

○Windows Updateの管理

本年度、新しく構築する本学の仮想サーバにWSUSサーバを構築し、Windows Upadteの管理/配信/メンテナンス等の運用を6年間行うこと。
本学SEと連携し、実施すること。

（1）運用について

- ・毎月1回、必要な更新プログラムの確認/配信設定の管理を行うこと。
- ・WSUSの配信設定については、事前検証端末にのみ適応する設定を行い、WindowsUpdateおよび大型アップデートが実施される場合、検証環境のみ適応して動作確認できること。配信順序については、本学担当者と相談の上決めること。
- ・配信予定プログラムについて、事前に問題が確認できた場合は本学担当者に相談すること。
- ・運用ルールについては本学担当者と相談の上、適宜変更するものとする。

(2) WSUSの運用支援とサポートについて

- ・仮想サーバの準備が遅れる可能性に備え、ADのグループポリシーでもWindows Updateを制御できるようにすること。
- また、本学SEでも対応ができるよう、手順書を作成すること。
- ・不具合が発生した場合は、すぐに本学担当者に報告し、早期復旧に向けサポートすること。

○その他

以下の項目は納入物品の共通事項である。

(1) 機種選定条件

操作性、保守性、耐久性、信頼性および省電力性に十分配慮されていること。

(2) 電気的特性

以下の電気的条件のもとで機能が正常に動作しなければならない。

- ① AC電源電圧 $100V \pm 10V$
- ② AC電源周波数 $50Hz / 60Hz$ 共用

(3) 環境への配慮

環境への影響に配慮し、次の①②の条件を満たすこと。また、③～⑥にもできるだけ配慮したものとする。

- ① グリーン購入法に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」による基準エネルギー消費効率を上回らないこと。
- ② 県立大学担当者が不要とする製品の梱包材は持ち帰ること。
- ③ 使用済み製品（使用済み二次電池を含む。）の回収及び再使用または再生利用システムがあり、再使用または再生利用されない部分については適正処理さ+0れるシステムがあること。
- ③ 資源有効利用促進法の判断基準を踏まえ、製品の長寿命化・省資源化や部品の再使用、素材の再生利用のための設計上の工夫がなされていること。
- ⑤ 再生プラスチック材や一度使用された製品から再使用部品が多く使用されていること。
- ⑥ 製品の包装は、再生利用の容易さ、廃棄時の負荷低減に配慮されていること。

(4) 留意事項

本仕様書に記載していない事項であっても、本仕様書に記載する要件に必要なものがある場合は本調達に含めること。

(5) 保守について

- ① 今回導入する事務の端末(永平寺キャンパス、小浜キャンパス分)を対象とし、永平寺キャンパスは週2回、小浜キャンパスは週1回の常駐、もしくはそれに類する保守対応を実施すること。（対象期間は、2026年3月末日まで）
- ② 常駐保守日以外の対応は、協議・相談の上対応すること。
- ③ 本仕様書に関する機器について、迅速な保守サービス提供が可能なこと。
- ④ 故障の連絡の受付時間帯は午前8時30分から午後5時15分までとする（ただし、土・日、祝日を除く。）。
- ⑤ 受託者は、ここに定める保守及び障害復旧作業を行った時は、速やかに書面により県立大学担当者に報告するものとする。

⑥ 保守の例外（以下の各号に定める事項が起こった場合は保守の範囲に含まれないものとする。）

- ・天災、地変、その他納入者の責に帰すことのできない事由により生じた故障の修理。
- ・使用者の不適切な機器の使用、または取扱いによる故障の修理。

○期限について

令和7年9月1日から令和7年10月8日の間で設置までの作業一式を行うこと。